KOIZUMI

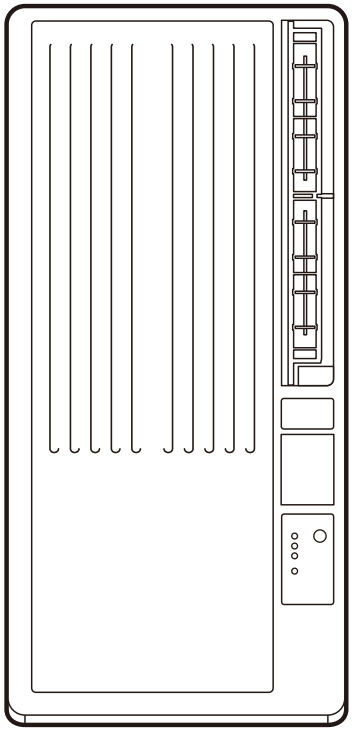
家庭用　日本国内専用 Use only in japan

ウインド型 ルームエアコン

KAW-1921

（マイナスイオン発生装置内蔵）

取扱説明書（保証書別途添付）



目　次

ご使用前に知っておいていただきたいこと……1
仕様……1
安全上のご注意
1. 取り付け上の注意事項……2～3
2. 使用上の注意事項……3～5
3. 移設・修理時の注意事項……6
4. 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について……6～7
ご使用前に……7～8
リモコンご使用の前に……8
各部のなまえとはたらき……9
操作部のなまえとはたらき……9
リモコンのなまえとはたらき……10
運転のしかた……11
除湿運転のしかた……12
タイマー運転のしかた……13～15
切タイマー、快眠タイマー運転中は……15
上手な使い方……16
風向調節のしかた……17
エアコンの運転と性能について……18
お手入れのしかた……19～21
据え付け……22
ドレン水の排水工事について……23
故障かな？と思われたときは……24～25
エアコン運転時のご注意……26
保証・アフターサービスについて……27
お客様の個人情報のお取り扱いについて……27
お客様相談窓口……27

このたびは、コイズミルームエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後は、「保証書」「取付工事説明書」とともに大切に保管してください。

小泉成器株式会社

ご使用前に知っておいていただきたいこと

- **電源プラグをコンセントに差し込んですぐに運転した場合、コンプレッサーは約3分間運転しません。**コンプレッサーの運転開始後も、冷媒（冷たいガス）が下部から上部へ流れる構造になっています。**吹出口から冷たい風が出るまで約4～6分（シーズン初めは吹出口からの冷風が均一になるまで約60分程度）かかります。**
- 運転停止後、すぐに再運転した場合も、コンプレッサーは、約3分間運転しません。いずれも、エアコンが故障するのを防ぐためです。
- 冷房運転中、設定温度を今の温度より高い温度に変更した場合、冷房運転を停止しますが、その後すぐに低い温度に設定し直した場合も約3分間運転しません。

運転音について	ウインドエアコンは、コンプレッサーと一体型となっています。室外機を室内に置いたのと同じような状態になりますので、セパレートエアコンと比べると音が大きくなります。（25ページ参照）

仕　様

種類			ウインド形・空冷式・冷房除湿兼用
電源			単相100V　50 / 60Hz
冷房	能力 (kW)		1.6/1.9
	運転電流 (A)		8.3/7.7
	消費電力 (W)		660/735
	通年エネルギー消費効率 (APF)		2.5/2.7
	除湿能力 (L/h)		0.8/1.0
	冷房面積の目安(m²)	50Hz	4.5～7畳（7～11）
		60Hz	5～8畳（8～12）
圧縮機出力 (W)			500
送風機出力 (W)			室内9・室外15
風量 (m³/min)			4.5/5.0
運転音(音響パワーレベル) (dB)			室内54/55・室外63/64
質量 (kg)			約22
電源コード長さ (m)			約1.8
外形寸法(高さ×幅×奥行) (mm)			約750×360×230
冷媒			R410A

●この仕様書はJIS規格(JIS　C9612)にもとづいて表示してあります。　●製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
●通年エネルギー消費効率(APF)の数値は、1年間を通してある一定の条件の下にエアコンを運転したときの消費電力1kWあたりの冷房能力を表したものです。

	窓の開き巾	取付可能窓寸法　770mm以上～830mm未満の窓は、ジャバラの加工が必要になります。※取付工事説明書を参照してください。			
		アルミ製窓		木製窓	スチール製窓
標準取付枠 KAW-9013	430mm以上	（立ち上がり12mm以上）770mm以上 1400mm未満	（立ち上がり12mm未満）800mm以上 1400mm未満	800mm以上 1400mm未満	800mm以上 1400mm未満
延長取付枠(別売) KAW-9003	430mm以上	1400mm以上 1900mm未満	1400mm以上 1900mm未満	1400mm以上 1900mm未満	1400mm以上 1900mm未満

●取付け高さが1400mm以上の場合は別売りの延長取付枠KAW-9003をお求めください。　※延長枠単体ではご使用できません。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
  表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示の例

⃠ は、してはいけない「禁止」の内容です	一般的な禁止　分解禁止　濡れ手禁止　水濡れ禁止
● は、必ず実行していただく「強制」の内容です	必ず行う　電源プラグを抜く　アースを行う

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

1. 取り付け上の注意事項

⚠ 警　告

- **取り付けは、取付工事説明書に従って確実に行う**
  取り付けが不完全な場合は、水漏れ、感電、火災、製品落下によるケガの原因になります。

- **電気工事が必要な場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
  配線等に不備があると漏電や火災の原因になります。

- **取り付けは、重量に耐える所に取付工事説明書通りに行う**
  取り付けに不備があると製品の落下により、ケガの原因になります。
  また、振動が増大し騒音の原因になります。

⚠ 注　意

- **アースを行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない**
  アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
  アース工事は必ず販売店に依頼してください。

- 水道管
  途中に塩化ビニール管などプラスチックを使っていることがありますので、アースの役目をしません。

- ガス管
  引火や爆発の危険があります。

- 避雷針・電話のアース線…落雷のとき大電流が流れ危険です。

安全上のご注意

● 設置場所によっては漏電ブレーカーを取り付ける

湿気の多い場所、水気のある場所で使用する場合は漏電ブレーカーの取り付けが必要です。
お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

● 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない

万一ガスが漏れて製品の周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

● 設置場所に気をつける

海岸地区など塩分の多い所や温泉地など硫化ガスの発生する所など、特殊な場所で使用すると故障の原因となりますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

● テレビ、ラジオなどから1m以上離す

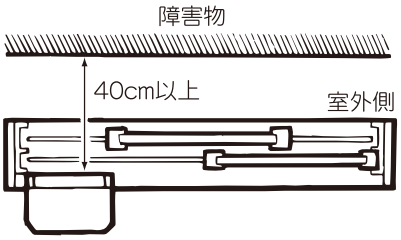
映像の乱れや雑音が入ることがあります。

● 騒音に気をつける

エアコンの室外吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

● 障害物を避ける

エアコンの室外吹出口近くに物を置きますと、機能低下や騒音のもとになります。



● 排水工事をした場合、ドレンホースは確実に排水するように配管する

不確実な場合は屋内に浸水し、家財等をぬらす原因になることがあります。

2．使用上の注意事項

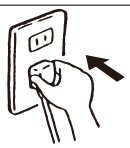
⚠ 警　告

●長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにする

体調悪化・健康障害の原因になります。
特に乳幼児、お年より、病気の方、身体の不自由な方などの場合は、周囲の方が常に注意してください。

● 電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込む

ホコリが付着したり、差し込みが不完全な場合は感電や火災の原因になります。

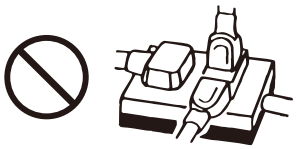


● 電源プラグの抜き差しによるエアコンの運転や停止をしない

感電や火災の原因になります。

● 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線をしない

感電や発熱・火災の原因になります。



● 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

● 空気の吹出口や吸込口に指や棒、ピンや針金などの異物を入れない

内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。
また、吹出口奥に指や棒を入れると感電や故障の原因になります。

● AC100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

● 定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火し、火災にいたることがあります。

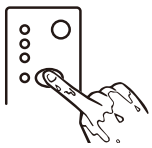
⚠ 注　意

● 食品、動植物、精密機器、美術品の保存など特殊用途には使用しない

品質低下、変質などの原因になることがあります。

● 濡れた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

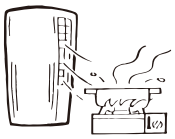


● 燃焼器具の使用時には、こまめに換気する

換気が不充分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

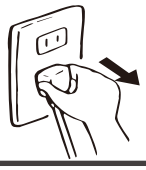
● エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない

燃焼器具の不完全燃焼や火災、事故の原因になることがあります。



● 電源プラグを抜くときは、プラグを持って行う

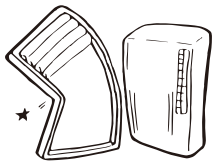
コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



安全上のご注意

● 長期使用で取付枠などが傷んでいないか注意する

傷んだ状態で放置すると製品の落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。



● エアコンを水洗いしない

感電や故障の原因になることがあります。

● 動植物に直接風があたる場所には設置しない

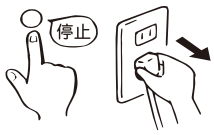
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

● エアコンの下に電気製品や家具などを置かない

水滴が滴下する場合があり、汚損、感電や故障の原因になります。

● 掃除をするときは、必ず運転/停止ボタンを押して運転を「停止」にし、電源プラグを抜く

内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になることがあります。



● 長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

ホコリが溜って発熱・発火の原因になることがあります。

● 運転中は、窓ガラスを閉めて吹出口をふさがない

温風で窓ガラス破損や異常、故障の原因になることがあります。

● 豪雨や台風のときは、運転を停止して窓を閉める

窓を開けたまま運転すると室内に浸水して家財などを濡らす原因になることがあります。

● 取り外すときは、傾けないように注意する

内部に溜っている水が滴下して家財などを濡らす原因になることがあります。

３.移設・修理時の注意事項

⚠ 警　告

● 異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止し電源プラグを抜く

お買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

修理は、お買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。
修理に不備があると感電・火災などの原因になります。

● エアコンを移動再設置する場合は、取付工事説明書に従って確実に行う

取り付けに不備があると水漏れ・感電・製品落下によるケガなどの原因になります。

４.長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

● 本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。

〔製造年〕本体の銘板の中に西暦４桁で表示してあります

⚠	**【設計上の標準使用期間】10年** **設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。**

● 設計上の標準使用期間とは

設置状況や環境、使用頻度が標準使用条件（7ページ）と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

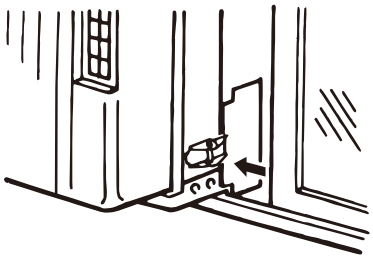
標準使用条件

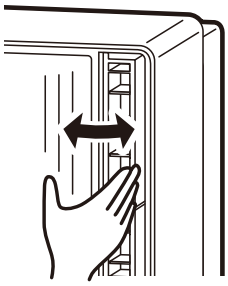
	項　目	規　定
環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47％（湿球温度19℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40％（湿球温度24℃）
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	機種能力に見合った広さの部屋（㎡）
想定時間	1年当たりの使用日数	冷房6月2日から9月21日までの112日間（東京モデル）
	1日当たりの使用時間	冷房　9時間/日
	1年間の使用時間	冷房　1008時間/年

ご使用前に

出荷時の試運転により、底部に水が残っている場合がありますが異常ではありません。

- **ご使用時は本体背面をふさがないように必ず窓を開けてご使用ください。**
- 室外側への放熱のため、窓･あみ戸を開けます。（窓･あみ戸は、途中で止めずに、完全に開けて下さい。）
- 窓を窓ストッパーに当たるまで、ゆっくりと閉めます。（窓と窓ストッパーの間に隙間ができないようにしてください。）
- 運転時には窓ストッパーを必ず使用して、窓がエアコンの背面をふさがないようにしてください。





温風で窓ガラス破損や異常、故障の原因になったり保護装置がはたらいて冷風が出なくなることがあります。

- 防犯上、お出かけのときは必ず窓を閉めて鍵をかけてください。
- 台風や暴風雨のときにも窓を閉めてください。

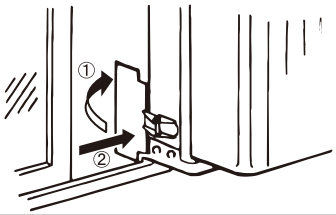
● 吹出口のルーバーを開ける

- 吹出口のルーバーを正面の位置まで開けます。

窓ストッパーの使いかた（必ずご使用ください）

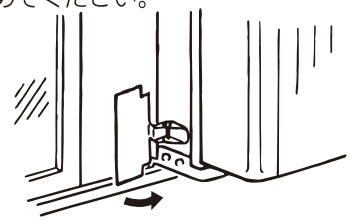
エアコンを運転するとき

①窓を開け、窓ストッパーを矢印の方向に開きます。
②窓を窓ストッパーに当たるまでゆっくりと閉めます。



窓を閉めるとき

① 運転を停止してください。
② 窓を開け窓ストッパーを矢印の方向へ回します。
③ 窓を閉めてください。



戸側防水パッキンの確認

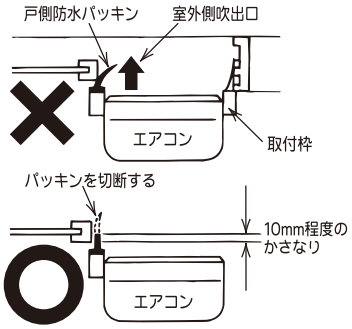
● パッキンが室外側吹出口をふさいでいませんか。

● 戸側防水パッキンとガラス戸が10㎜程度かさなるようにパッキンの溝に沿って切断してあるか確認してください。

室外側吹出口をふさぐと冷えなかったり、運転停止の原因になります。

● 右側取付けの場合は、戸側防水パッキンが室外側吹出口をふさぎますので必ず切断してください。

［ 右側取付けの場合 ］



リモコンご使用の前に

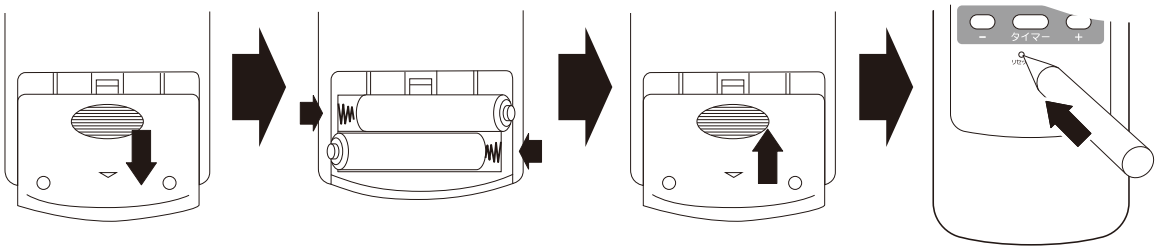
ご使用になる前に付属の乾電池をリモコンに入れてください。

リモコンの裏ふたを開けます。

単4乾電池2個を入れます。

ふたを閉めます。

リセットボタンを先の細いもので押します。

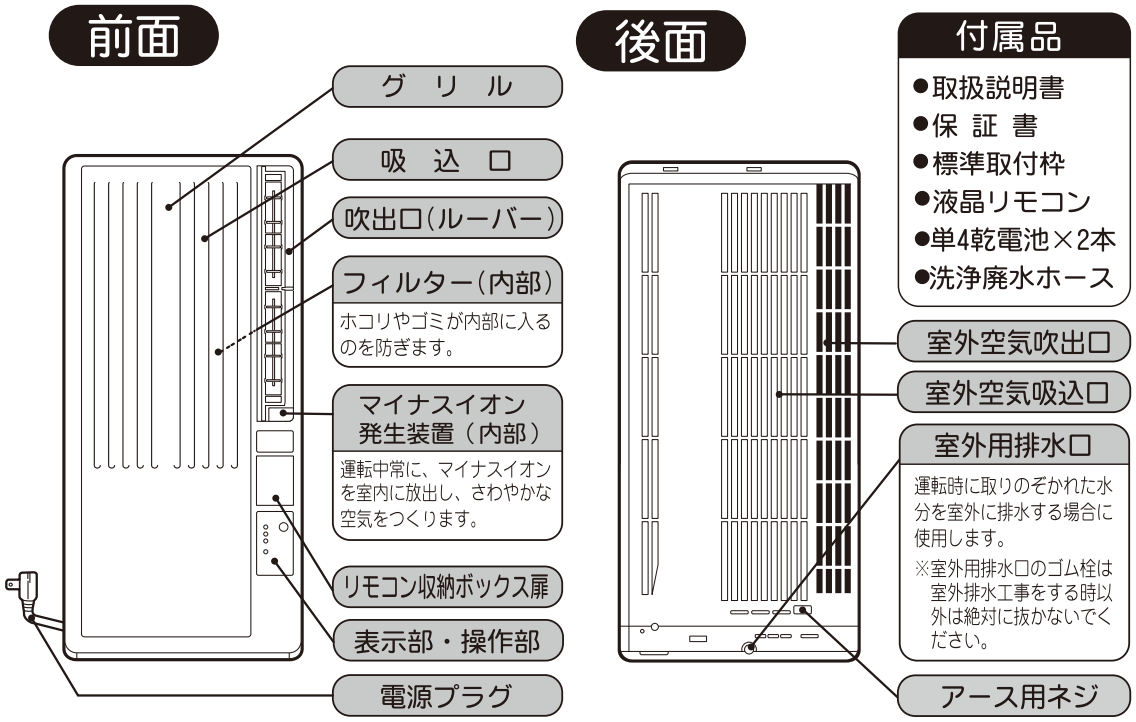


ご注意
● 乾電池の液漏れをさけるため、長期間使わない時は乾電池を取り出してください。
● 動作しにくくなった場合は乾電池を交換してください。

リモコンが使えないときは

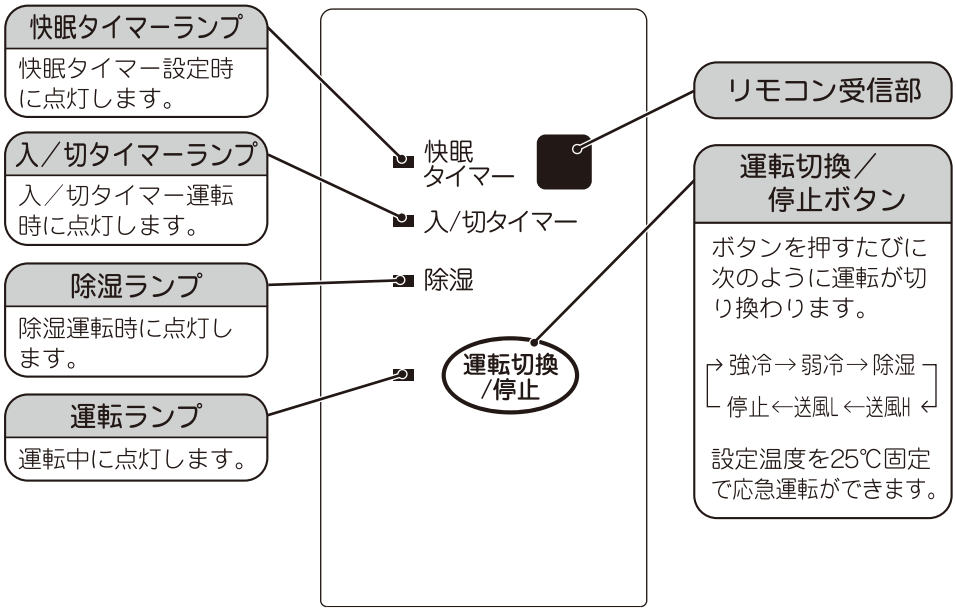
リモコンの乾電池が切れたり、リモコンが見つからないときに、本体の運転切換/停止ボタンで運転や切り換え、停止ができます。
（ただし、本体の運転切換／停止ボタンでは温度設定やタイマー設定はできません。設定温度を25℃固定で応急運転ができます。）

各部のなまえとはたらき



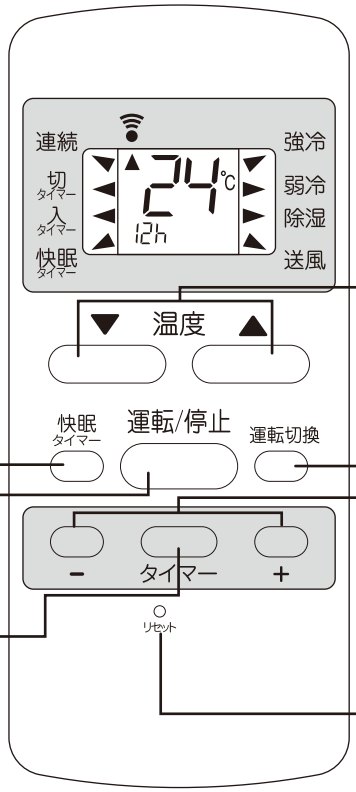
● このエアコンは**ドレン水自動処理機構になっていますので排水処理の必要はありませんが**、必要に応じて排水工事をすることも可能です。
詳しくは、23ページをご覧ください。

操作部のなまえとはたらき



リモコンのなまえとはたらき

リモコン型番：KAW-12



快眠タイマーボタン

快眠タイマー機能の入/切を設定します。快眠タイマーを取り消す場合は、もう一度快眠タイマーボタンを押してください。
→13ページ参照

運転/停止ボタン

ボタンを押すと運転を始めます。もう一度押すと運転を停止します。

タイマーボタン

連続→切タイマー→入タイマー→…の順で切り換わります。
→13～14ページ参照

温度設定ボタン

温度を設定するときに使います。
●温度設定範囲（21～29℃）

運転切換ボタン

強冷 → 弱冷 → 除湿 → 送風H → 送風L → … の順で切り換わります。

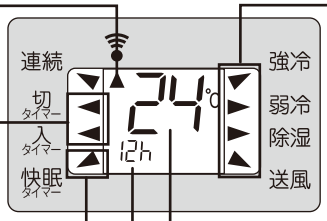
タイマー時間切換ボタン

1時間から12時間まで1時間単位でタイマー時間の切り換えをおこないます。

リセットボタン

乾電池交換時に使用します。
→ 8ページ参照

液晶表示部



送信表示

信号送信時に点灯します。

タイマー運転表示

タイマーの種類を表示します。

快眠タイマー表示

快眠タイマー設定時に点灯します。

タイマー時間表示

1時間単位でタイマー時間を表示します。

運転モード表示

運転の種類を表示します。

温度表示

設定温度を表示します。
（冷房、除湿運転時は21～29℃
送風運転時はH・L）

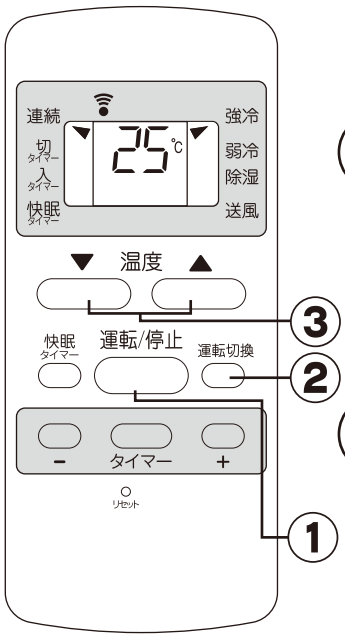
ご注意

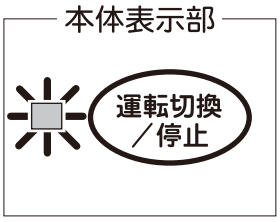
■本体受信部とリモコンの間にカーテンなど信号をさえぎる物があると動作しません。
■リモコンを投げたり、落としたりしないでください。また、水などをかけたりしないでください。
■リモコンや本体受信部に直射日光があたる場合、リモコン操作が正しくできない場合があります。
■電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では、リモコンの信号を受付けない場合があります。
■運転切り換えは本体操作部でもリモコンでもできますが、後から操作した方を優先します。そのため本体の動作とリモコンの表示が一致しない場合があります。
■リモコンはこの機種専用です。市販の汎用リモコンはご使用できません。
■リモコンを紛失された場合は、リモコン型番で依頼してください。

運転のしかた

ボタンを押したとき、またはリモコンを正しく受信したときは、「ピッ」という音がします。

- エアコン背面の窓や網戸が開いていることを確認してください。
- ルーバーが開いていることを確認してください。





電源 電源プラグ

コンセントに差し込みます。

1 運転/停止ボタン

押します。

- 本体の運転ランプが点灯し運転を開始します。

2 運転切換ボタン

押して運転の種類を選びます。ボタンは「ピッ」という音を確認しながらゆっくりと押します。

- ボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

強冷→弱冷→除湿→送風H→送風L

3 温度設定ボタン（冷房運転のとき）

使い初めは、温度設定は25℃にセットして運転し、しばらくしてからお好みの温度に設定してください。

▲を押すと温度が上がり
▼を押すと温度が下がります。

- 通常は外気温より約3℃低い値を設定します。

停止 運転/停止ボタン

押します。

- 本体の表示部が消えて運転を停止します。

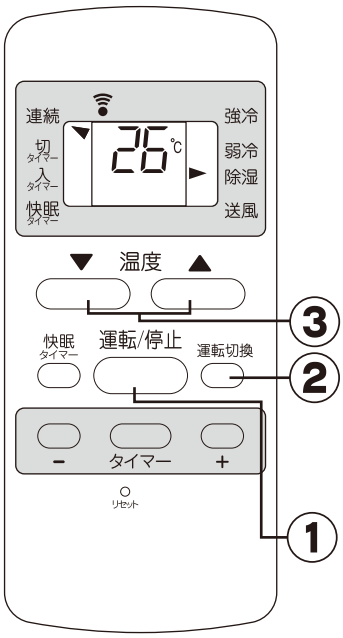
ご注意

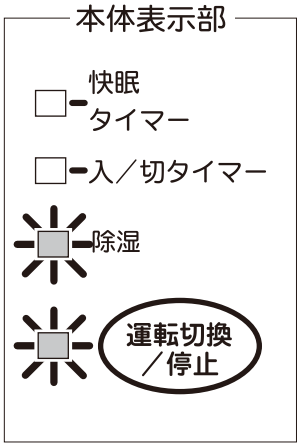
- 室温が20℃以下のときは、運転しないでください。
- 室温が「温度設定ボタン」で設定された温度より低いときや、運転中に室温が設定温度になったときは、送風運転になります。
- 送風の「H」は強送風、「L」は弱送風となり、冷房運転はおこないません。
- 気温が高い時、最初から21℃で運転すると運転が停止する場合があります。その時は、いったん運転『切』の状態でしばらく待ってから、25℃に設定して運転し、その後しばらくしてから温度調節してください。

除湿運転のしかた

ボタンを押したとき、またはリモコンを正しく受信したときは、「ピッ」という音がします。

- エアコン背面の窓や網戸が開いていることを確認してください。
- ルーバーが開いていることを確認してください。





電源 電源プラグ

コンセントに差し込みます。

1 運転／停止ボタン

押します。

- 本体の運転ランプが点灯し運転を開始します。

2 運転切換ボタン

押して「除湿」に切り換えます。

- 本体の除湿ランプが点灯します。
- 本体は下表のように運転を行います。

室温が設定よりも高いとき	2℃以上	連続運転
	2℃未満	6分間運転、4分間停止のくり返し
室温が設定よりも低いとき		4分間運転、6分間停止のくり返し

- 除湿運転中は、風速は「弱」となります。
- 停止中は室内ファンも停止します。

3 温度設定ボタン

お好みの温度にします。

- 通常は「26」～「28」にします。

停止 運転/停止ボタン

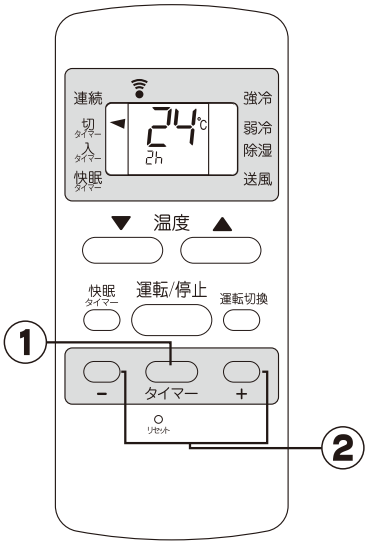
押します。

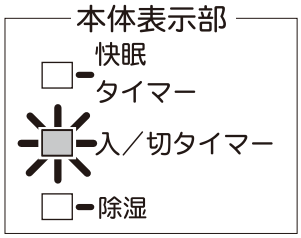
- 本体の表示部が消えて運転を停止します。

ご注意
- 室温が20℃以下のときは、運転しないでください。
  低温の状態で長時間運転した場合、運転を停止します。
  室温が上がると自動的に運転を再開します。

タイマー運転のしかた

- エアコン背面の窓や網戸が開いていることを確認してください。
- ルーバーが開いていることを確認してください。
- 「切タイマー」「快眠タイマー」「入タイマー」は、どれか一つしか設定できません。





切タイマー

設定時間後に停止します。（15ページ参照）
※おやすみ時などにお使いください。

お好みの運転状態にしてから行ってください。

タイマーボタン

1 液晶表示部のタイマー運転表示を「切タイマー」に合わせます。

- 液晶表示部にタイマー時間が表示されます。
- 本体の入／切タイマーランプが点灯します。

タイマー時間切換 ボタン

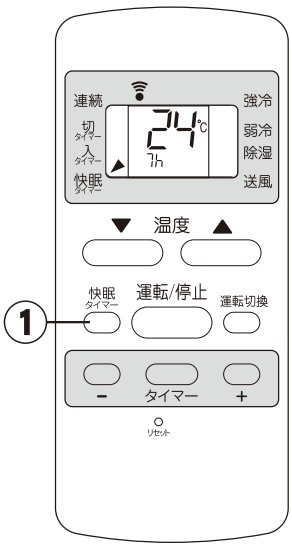
2 ー または＋ ボタンを押してお好みのタイマー時間に合わせます。

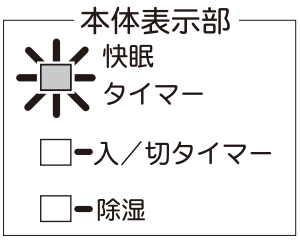
（例）今、午後9時です。午後11時（2時間後）に停止したい場合は「2」に合わせます。

- タイマー時間設定範囲は「1」～「12」時間です。

これでタイマーセットは完了です。

- 液晶表示部に、運転停止までの時間を表示します。





快眠タイマー

設定7時間後に停止します。（15ページ参照）
※おやすみ時などにお使いください。

お好みの運転状態にしてから行ってください。

快眠タイマー ボタン

1 液晶表示部の快眠タイマーが選択されます。

- 液晶表示部にタイマー時間が表示されます。
- 本体の快眠タイマーランプが点灯します。

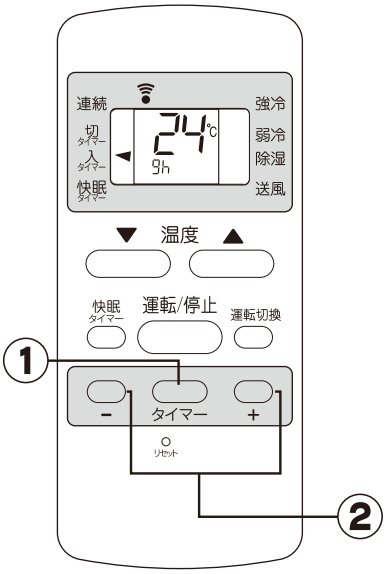
これでタイマーセットは完了です。

- 液晶表示部に、運転停止までの時間を表示します。

おやすみのときは

- 冷風に直接長時間当たらないよう風向きを調節してください。
- 冷えすぎないようご注意ください。またタイマーを活用して必要な時間だけ運転しましょう。節電にもつながります。

ボタンを押したとき、またはリモコンを正しく受信したときは、「ピッ」という音がします。



本体表示部

- 快眠
- タイマー
- 入／切タイマー
- 除湿

入タイマー	設定時間後に運転を開始します。 設定1時間後に停止します。 ※おめざめ時などにお使いください。

お好みの運転状態にしてから行ってください。

1 タイマーボタン

液晶表示部のタイマー運転表示を「入タイマー」に合わせます。

- 液晶表示部にタイマー時間が表示されます。
- 本体の入／切タイマーランプは数回点滅後、点灯し運転が停止します。

2 タイマー時間切換ボタン

－ または＋ ボタンを押してタイマー時間を合わせます。

（例）今、午後10時です。翌日の午前7時（9時間後）に運転したい場合は「9」に合わせます。

- タイマー時間設定範囲は「1」～「12」時間です。

これでタイマーセットは完了です。

- 液晶表示部に、運転開始までの時間を表示します。

- 切り忘れ防止機能・・・運転開始後、1時間経過するとエアコン本体の運転を停止します。
- 運転を再開するには、温度設定ボタンや運転切換ボタンを押してください。液晶に表示されているモードで運転が再開されます。
  運転/停止ボタンを押した場合は、停止しますので、再度、運転/停止ボタンを押して再開させてください。
- 入タイマーをセットし運転開始した後に、連続運転に切換えたいときは、リモコンのタイマーボタンを３回押しタイマー運転を解除します。（解除されると入/切タイマーランプが消え、リモコンの液晶表示部が「連続」を指します）
  その後お好みの運転状態にしてください。

タイマー運転中、変更したいとき

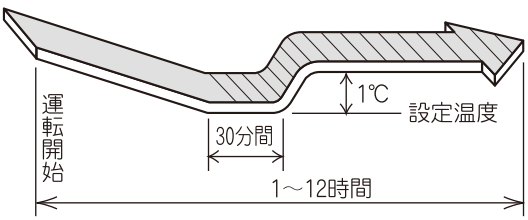
時間を変更したい	● タイマー時間切換ボタン(＋ または ー)を押して、変更したい時間に合わせます。 変更した時点から新しい設定時間で動作します。
温度を変更したい	● 温度設定ボタン(▲ または ▼)を押して、変更したい温度に合わせます。
タイマー運転を中止したい	● タイマーボタンを押し連続に合わせます。 ●「 入タイマー」運転中に、運転/ 停止ボタンを押すとタイマーは解除され、停止状態となります。

切タイマー、快眠タイマー運転中は

切タイマーで運転中は

● 室温が設定した温度になってから30分後に温度設定を自動的に1℃上げて運転し、冷え過ぎをやわらげます。
（温度設定の表示は変わりません。）
このとき運転は「弱冷」になります。

● 送風運転が30分以上続くと 、送風を止めて、部屋の温度状態を見守ります。室温が設定温度以上になると再び冷房運転を開始します。

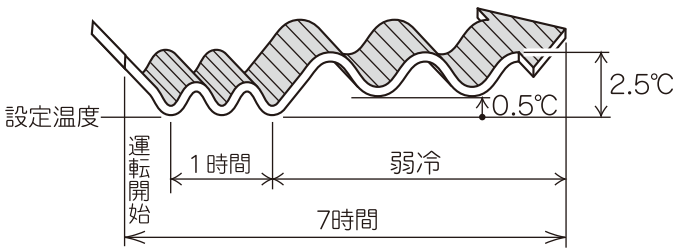


快眠タイマーで運転中は

● 室温が設定温度になって1時間後からは
1. 温度設定を自動的に0.5℃上げて運転し、冷え過ぎをやわらげます。
2. 温度調節の幅は2℃になります。
（+0.5℃～+2.5℃で制御）
3. 運転は「弱冷」になります。

● 7時間後、運転を停止します。

（温度設定の表示は変わりません 。）

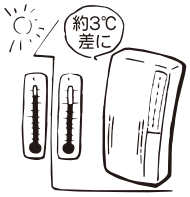


上手な使い方

● 電気代の節約と快適な冷房･除湿運転をするために。

室内温度は快適に

● 冷やしすぎは健康上よくありません。また電気のむだ使いになります。

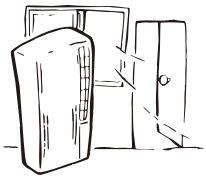


タイマーを使う

● タイマーを使って必要な時間だけ運転してください。

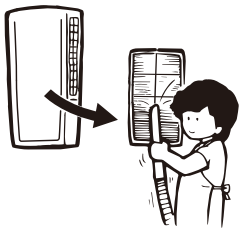
窓や戸は必要以上に開けない

● 冷風がお部屋から逃げないように、窓や戸は必要以上に開けないようにしてください。



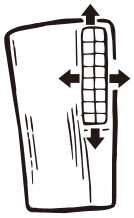
フィルターの掃除をこまめに

● フィルターの目づまりは風量をへらし、冷房除湿効果を弱めます。2週間に1回は掃除を。



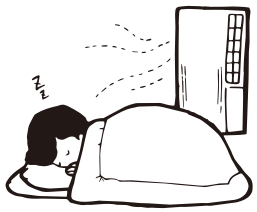
室内温度はムラのないように

● 室温のムラを少なくするように風向調節を。



おやすみ時、冷やしすぎは禁物

● 温度設定を少し高めにしてください。

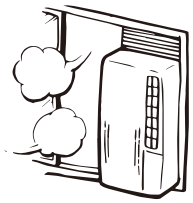


窓にはカーテンを

● 冷房運転時にはカーテンなどを閉め、直射日光が入らないようにします。

ときどき換気を

● 窓を閉め切ることが多いのでときどき換気をしてください。また燃焼器具の使用はひかえてください。

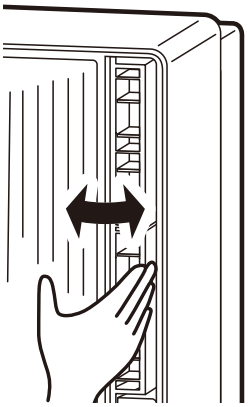


風向調節のしかた

● 空調効果をより高めるためにルーバーで風向を調節してください。

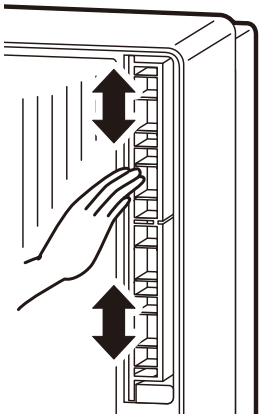
左右ルーバー

お部屋の状態やお好みに合わせて、調節してください。



上下ルーバー

通常は水平または少し上向きにしてください。



● 使用時はルーバーを開けてください。冷えない原因や水漏れの原因となることがあります。

運転中は、吸込口や吹出口をふさがない

●フィルターにホコリが詰まると風量が減少し、能力が低下したり、運転が停止したりすることがあります。

吹出口近くに物を置かない

● 室外側の吸込口や吹出口をふさいだ場合は、コンプレッサーが過熱して保護回路が働き冷房運転を停止することがあります。コンプレッサーの温度が下がるとコンプレッサーは再起動しますが、冷却に1時間以上要することもあります。

● 室内側の吸込口・吹出口と室外側の室外空気吸込口・室外空気吹出口の4ヵ所の前方に風の流れを遮るものを置かないでください。

● 室内側では冷風吹出口の前に遮蔽物を置くと室内空気吸込口より冷気を吸い込み、本体内の温度センサーが室内温度の下がった状態と判断し、コンプレッサーは一時停止し、冷房運転から送風運転に切り換わります。

● エアコンの前に長くいると冷えた風が身体に当たり、はね返った冷たい風をセンサーが感知して冷房運転から送風運転に切り換わる場合もあります。

エアコンの運転と性能について

● エアコンを正しく使っていただくために、つぎの条件で運転してください。

エアコンの運転条件

冷房運転 除湿運転	外気の温度	約21℃以上　43℃以下
	部屋の温度	約21℃以上　32℃以下
	部屋の湿度	80%以下 ● 80%をこえた状態で長時間運転すると機械の表面に露がつき滴下することがあります。また除湿量が多くなるため室外側からドレン水が出ることもあります。 特に水蒸気が発生する場所や適室より大きい部屋での運転は避けてください。

この条件以外の温度で運転されますと適正な能力が得られない場合や、保護装置がはたらき運転できないことがあります。

停電について

運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。

● 運転を再開するときはしばらく待ってから運転/停止ボタンを押しなおしてください。
● タイマー運転中に停電した場合も、同様に停止状態になります。もう一度、タイマーをセットしてください。

運転中に誤動作したとき

万一運転中にカミナリ、カー無線などにより誤動作したときは、電源プラグを抜きしばらく待ってから差し込みなおし、もう一度始めから操作をやりなおしてください。

お手入れのしかた

● お手入れするときは、必ず運転を止め、電源プラグを抜いてください。

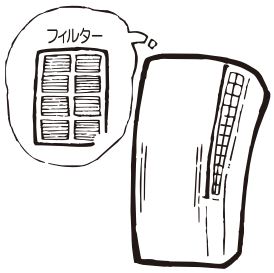
シーズン前の点検（シーズン前に試運転される時に）

アース線の確認

アース線がはずれていたり、途中で切れていないか確認します。

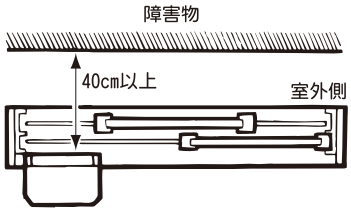
フィルターの確認

フィルターを入れないで運転しますと、製品が汚れ故障の原因になります。



窓やあみ戸など吸込口や吹出口の周囲をふさぐものがないか確認

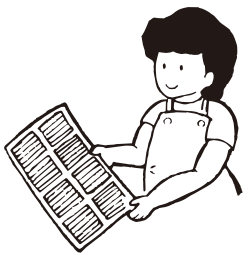
異常や故障の原因になります。



フィルターのお手入れ

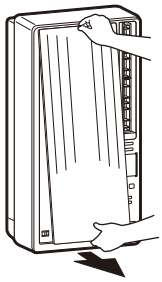
2週間に一度はお手入れを

フィルターにホコリが詰まると風量が減少し、能力が低下したり、運転が停止したりすることがあります。

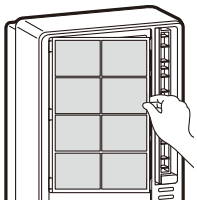


フィルターの取り外しかた

1. グリルの下を手前に引いて、グリルをはずします。

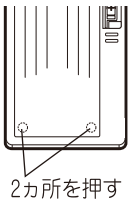


2. フィルターの引掛けつめ5ヵ所をはずします。



グリルの取り付けかた

グリル上部を本体の穴にさし込み図の2ヵ所を確実に押します。



フィルターの掃除

掃除機を使用するか、軽くたたいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。洗った後は、よくすすぎ、日陰で乾かしてから元どおり取り付けてください。

本体・グリルのお手入れ

本体に水をかけないで

直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。感電するおそれがあります。

揮発性のものは使わないで

ベンジン・シンナー、みがき粉、アルコール、化学ぞうきんなどを使用すると、変色、変形や割れることがありますので使用しないでください。

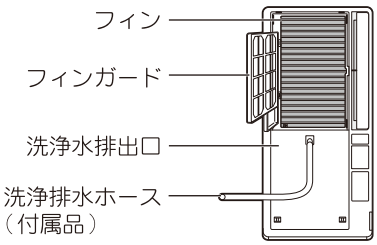
40℃以上のお湯は使わないで

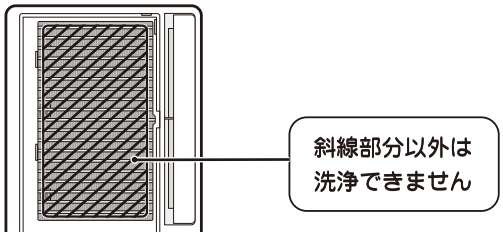
変形することがあります。

スポンジや布などのやわらかいものを使用してください。中性洗剤を溶かした40℃以下のぬるま湯か水をふくませて拭き、その後、やわらかい布で水分を拭き取ってください。グリルはしっかりと乾かしたのち、もとどおりに取り付けてください。

熱交換器の洗浄のしかた

熱交換器のにおいや汚れを市販のエアコン専用洗浄スプレーで洗浄する事ができます。





ご　注　意

- 必ずエアコン専用洗浄スプレーをご使用ください。
- 洗浄時には洗浄水排水口を手前に必ず引きだしてください。
  引きださないと排水ができません。
- ルーバーは必ず閉じてください。
- フィンには直接触れないでください。
- 熱交換器のフィン（アルミ）以外の部分にはスプレーしないでください。

洗浄の準備

1. 運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. グリルの下を手前に引いて、グリルをはずします。
3. フィルターの引掛けつめ 5カ所をはずします。
4. フィンガードを開きます。
5. 付属の洗浄排水ホースを洗浄水排出口へ取り付けます。
6. 排出される洗浄水を受けるバケツ等を用意してください。
7. 洗浄水排出口をカチッと音がするまで手前に引きだします。
   （洗浄水排出口を引きだすことにより排出できます。　）

洗浄の方法

- お使いのエアコン専用洗浄スプレーに記載される注意事項をよく読み、記載内容にしたがって洗浄してください。

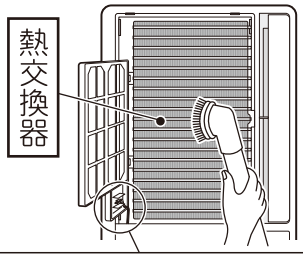
洗　浄　後

- エアコン専用洗浄スプレー使用後、洗浄液を完全に排出するまでは本体の組立や通電は行なわないでください。（約30分が目安です。）
- 洗浄後は、洗浄排水ホースを取り外し、洗浄水排水口をカチッと音がするまでもとにもどした後、「洗浄の準備」の逆の手順で本体を組み立ててください。
- 最後にグリルが正しくセットされていることを確認のうえ、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

お手入れのしかた

内部表面のお手入れ

- 運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- グリルとフィルターを取り外して、掃除機で熱交換器表面のほこりを取り除いてください。



ご注意

掃除機で熱交換器に傷をつけないでください。

- 性能低下の原因となります。

熱交換器にふれないでください。

- けがや故障の原因となります。
- フィンが著しく変形した場合、よく冷えないなど能力不足の原因となります。

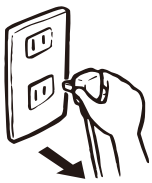
温度センサー
温度センサーがはずれると故障の原因となります。
温度センサー周辺の掃除はご注意ください。

シーズン後のお手入れ

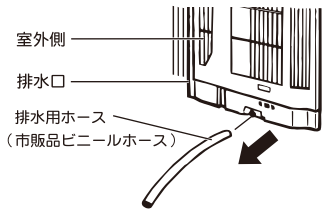
送風運転をする	電源プラグを抜く	フィルターの掃除
内部を乾燥させるため、晴れた日に半日ぐらい送風運転をします。	運転を停止して、電源プラグを抜いてください。	掃除後はもとどおりに取り付けます。

エアコンの取りはずしかた

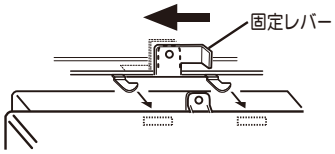
1 運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。



2 排水工事をしている場合は、排水用のホースなどをはずします。



3 本体固定ネジをはずしてから固定レバーを左方向へずらし、エアコン本体を手前にしっかりささえながら引きだします。



ご注意
シーズンオフなど取りはずすときは、次のようにおこなってください。

- 取りはずすときは、事前に内部を乾燥させるために、晴れた日に半日ぐらい送風運転をしてください。
- 取付枠を取りはずすときは、取り付けの逆の順序でおこなってください。
  くわしくは取付工事説明書をご覧ください。
- 取りはずした部品は大切に保管してください。
- 本体は立てた状態で保管してください。

点　検　整　備

■エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ性能が低下することがあります。
ご使用状態によっては、においが発生したり、ゴミ・ホコリなどによりドレン水の処理能力が悪くなることもあります。通常のお手入れとは別に点検整備（有料）をお勧めします。
点検整備はお買い上げの販売店にご相談ください。

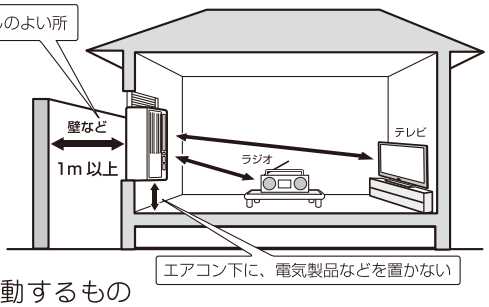
据え付け

据え付け・取り付け・移設のときには

据え付け

このような場所への設置はさけてください

- 油や煙・蒸気にさらされる場所
- 機械加工工場など、溶剤や油・粉塵の多い場所
- 海岸地区のような塩分の多い場所
- 温泉地のような硫化ガスの発生する場所
- テレビやラジオが1m以内にある場所
- 火災報知器が1.5m以内にある場所
- 動植物に直接風があたる場所
- 吸込口や吹出口がふさがれる場所
- 業務用としての使用および車両、船舶など移動するもの



騒音にもご配慮を

- 窓の強度が十分で、取付枠にもゆるみがないことを確認してください。
（強度不足および取付枠のゆるみがあると、騒音や振動が他へ伝わり増大する原因となります。）
（水漏れの原因になる事もあります。）
- 室外側の吹出口の近くに障害物を置きますと、騒音増大のもとになることがあります。
- 室外側の吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- エアコンをご使用中異常音がする場合は、お買い上げの販売店または小泉成器(株)「修理センター」にご相談ください。

取り付け

「安全上のご注意」の「取り付け上の注意事項」（2～3ページ）をご確認のうえ、取付工事説明書にしたがって取り付けてください。
また、取り付けが悪いと、振動音が大きくなります。
窓ストッパーは、必ず取り付けてください。

移　設

「安全上のご注意」の「移設・修理時の注意事項」（6ページ）をご確認ください。
またお買い上げの販売店にご相談ください。
（50Hz/60Hzの周波数は、共用になっています。）

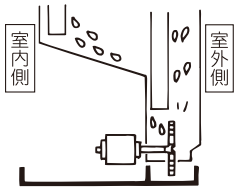
- 取付窓の高さが770mm～1400mm未満の窓に取り付ける場合は標準取付枠KAW-9013をご使用ください。
- 取付窓の高さが標準以上（1400mm～1900mm）に取り付ける場合は、延長取付枠KAW-9003をご購入ください。　（1ページ参照）

ドレン水の排水工事について

ドレン水の排水工事は不要です

ご注意

排水工事をする時以外は絶対に室外用排水口ゴム栓を抜かないでください。水漏れの原因となります。



- ドレン水自動処理機構（ノンドレン）は運転中に生じるドレン水をエアコン内部で蒸発させて処理します。

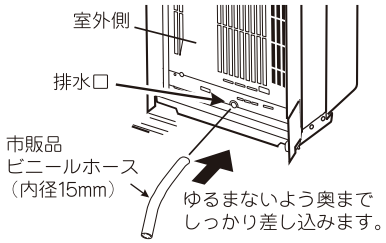
排水工事が必要な場合

- **下記のような場合にだけ排水工事をしてください。**
  - 湿度の高い場所(80%以上)で長時間使用し、ドレン水が室外側に滴下する場合
  - 排水処理の音(シャワシャワ音)が気にかかる場合

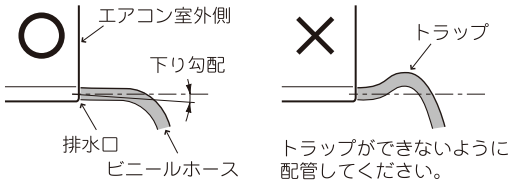
必要に応じて室外排水の工事をしてください。

室　外　排　水

- 室外用排水口のゴム栓をはずし、排水口にビニールホースを差し込みます。



- 水漏れを防止するため、必ず先下りの勾配になるよう行ってください。

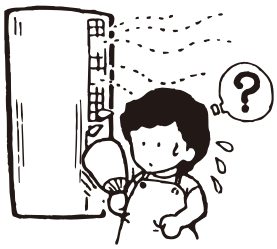
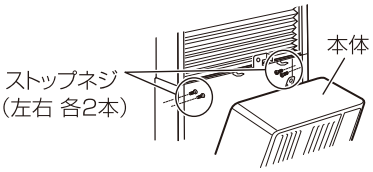


ご注意

- 窓を閉める際は、エアコンの排水口よりビニールホースを抜いてください。
  再びエアコンをご使用になるときは、ビニールホースを排水口に挿入してください。

故障かな？と思われたときは

修理、サービスをお申しつけになる前に次の点をお調べください。

運転しない	● 停電ではありませんか。 ● 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ● ブレーカーかヒューズが切れていませんか。 ● タイマーの使い方をまちがっていませんか。 →13・14・15ページをご覧ください。
よく冷えない 	● 前方に障害物はありませんか。 →はねかえった冷気を感知して室温が高いのに停止することがありますので障害物を取り除いてください。 ● 室外側の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 →7ページの「ご使用前に」をご覧ください。 ● フィルターが汚れていませんか。グリルを外してご確認ください。 →19ページの「フィルターのお手入れ」をご覧ください。 ● ルーバーが適切な位置になっていますか。 →17ページの「風向調節のしかた」をご覧ください。 ● 送風または除湿運転になっていませんか。 →冷房運転に切り換えてください。 ● 窓やエアコンに直射日光が当たっていませんか。 →すだれ等を取り付けて直射日光を避けてください。 ● 冷媒（冷たいガス）が下部から上部へ流れる構造になっています。吹き出し口から冷たい風が出るまで約4～6分（シーズン初めは吹出口からの冷風が均一になるまで約60分程度）かかります。 ● 最初の運転時に、温度設定を21℃にしていませんか。 →いったん運転を切り、しばらく待ってから25℃に設定して運転し、その後しばらくしてから温度調節してください。
室外側から水滴や水しぶきが出てくる	● 次のような使用をしていませんか。 →水蒸気が発生する場所での運転。窓やドアを開けたままでの運転。適室より大きい部屋での運転。湿度が高い部屋での運転。
水もれがする（室内に水滴が出てくる）	● 取付枠が傾いて取り付けられていませんか？ →取付枠は窓枠と垂直に取り付けてください。（取付工事説明書参照）
本体の快眠タイマー表示ランプと運転ランプが点滅する	● 室内側の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 →19ページの「フィルターのお手入れ」をご覧ください。 ● フィルターが汚れていませんか。 →19ページの「フィルターのお手入れ」をご覧ください。 ● 室内や室外の温度が20℃以下または44℃以上になっていませんか。
音が大きい	● コンプレッサーの入切により温度を調節する方式ですので、起動時や停止時には音が高くなります。（25ページの「運転音について」をご覧ください。） ● ストップネジはしっかりと締め付けられていますか。 →締め付けが弱いと共振して音が大きくなります。 

故障かな？と思われたときは

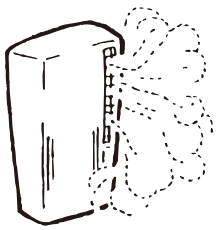
運転切換／停止ボタンを何回押しても除湿ランプと運転ランプが点滅する時はただちに運転を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてから販売店へご連絡ください。

- 電源プラグやコードが異常に熱いとき。また、コードの被覆の破れがあるとき。
- ブレーカーやヒューズがたびたび切れるとき。
- スイッチの作動が不確実なとき。
- 誤って異物や水を入れてしまったとき。
- その他異常を感じたとき。

次の症状は故障ではありません。

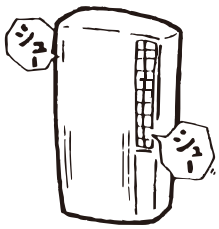
霧がでているように見える

- 冷房運転時、お部屋の空気がエアコンから吹き出した冷たい風で冷やされ、霧状になるためです。



水が流れるような音がする

- 「シュー」「シュー」という音はエアコンの内部に冷媒が流れている音です。「シャワ」「シャワ」と水をかきあげる音は内部でドレン水を自動的に処理している音です。



部屋がにおう

- 壁やじゅうたん･家具･衣類などのにおいがフィルターなどにしみ込んでででてくるためです。こまめにフィルターを掃除してください。

露がおちる

- 部屋の湿度が80%をこえた状態で長時間運転すると機械の表面に露がつき滴下することがあります。こまめに拭きとるなどしてください。

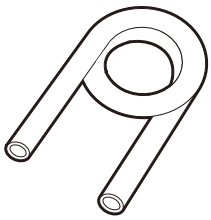
弱冷運転について

- 強冷運転に比べて弱冷運転では冷房能力は低下しますが運転音等には大きな差はでません。

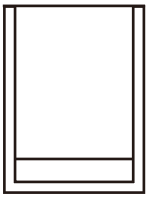
運転音について

- ウインドエアコンはコンプレッサーと一体型となっている為、室外機を室内に置いた場合と同じような状態になっています。また、コンプレッサーの入切により温度を調節する方式ですので、起動時や停止時には音が大きくなります。

別売部品



- 交換用
  洗浄排水ホース
  KAW-0001

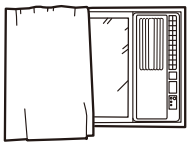


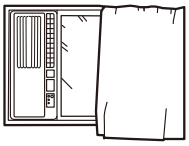
- 延長取付枠
  取付高さが1400mm以上の場合にお求めください。
  KAW-9003

エアコン運転時のご注意

● エアコンを運転の前にもう一度次のことをご確認ください。

窓は開いていますか？エアコンは窓のどちら側についていますか？


右側ですか？

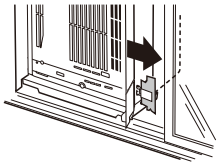

左側ですか？

右側取付の場合、背面の吹出口が少しでもふさがれると冷えなくなったり、異音が出たりしますので以下の点をもう一度ご確認願います。

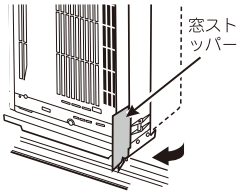
窓ストッパーはついていますか？

運転時に窓ストッパーを必ず使用して窓がエアコンの背面をふさがないようにしてください。吸込口吹出口をふさぐと、エアコンの性能が低下したり、保護装置が働いて運転できないことがあります。

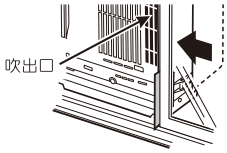
1 窓、あみ戸を開けます。エアコン背面の放熱をふさがないよう、窓、あみ戸は途中で止めずに完全に開けてください。



2 窓ストッパーをセットします。

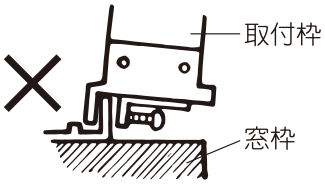


3 窓を閉めます。窓を窓ストッパーに当たるまでゆっくりと閉めます。戸側防水パッキンが室外側吹出口を少しでもふさいでいないか注意してください。



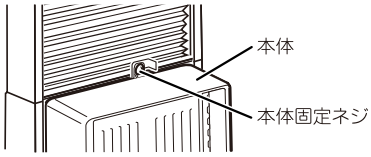
取付枠は,窓枠と垂直に取り付けていますか？

取付枠が垂直に取付けておらず、本体が傾いて取り付けられている場合、水もれの原因となります。
必ず取付枠は、垂直に取り付けてください。



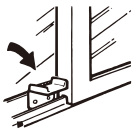
本体固定ネジは取り付けてありますか？

取付枠とエアコン本体を固定する『本体固定ネジ』(取付工事説明書参照)は取り付けてありますか？
落下防止の為、必ず取り付けて下さい。



ご注意

- 台風や暴風雨のとき、また長時間外出するときなどは、エアコンの運転を停止し、上記と逆の手順で必ず戸閉めをおこなってください。
- エアコンの室外吹出口の近くに物を置かないでください。ドレン水が霧状に吹き出て物を濡らす場合があります。
- 窓の形状によっては、若干のすきまが空くことがありますが、防犯のために工夫して鍵を取り付けてください。



保証・アフターサービスについて

1.保証書

●保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「**販売店名・お買い上げ日**」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと大切に保管してください。**保証期間：お買い上げ日から1年間です。**（ただし、冷凍サイクル部分は5年間です。）

2.修理されるとき

●保証期間中は
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理いたします。商品の内部機構をさわらずにお買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

●ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は**製造打切後9年**です。補修用性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。

4.点検整備について

●ルームエアコンを数年使用されますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめします。
●お客様ご自身での製品の分解は危険ですので、なさらないでください。

5.アフターサービスについておわかりにならないとき

●アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店か、小泉成器(株)「修理センター」にお問い合わせください。

※**廃棄時にご注意願います。**
2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集･運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

＜利用目的＞
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

愛情点検　●長年ご使用のルームエアコンの点検を

このようなことはありませんか。
●コゲくさい臭いがする。電源コード、プラグが異常に熱い。
●運転音が異常に高くなる。
●室内側へ水漏れがする。
●漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
●その他の異常や故障がある。

ご使用中止　このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口　ナビダイヤル（全国共通番号）0570（07）5555
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター　ナビダイヤル（全国共通番号）0570（05）8888
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

西日本修理センター　ナビダイヤル（全国共通番号）0570（05）8888
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター　ナビダイヤル（全国共通番号）0570（00）3211
■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

受付時間：平日9:00～17:30
（土･日･祝日･夏季休暇･年末年始を除く）

小泉成器株式会社
〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

2022年1月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）